

性能評価型(事例17) 循環バルブ調整による水質改善事例

【槽内状況】



維持管理要領書より 循環水量は使用人員3~5人(2.0~2.4ℓ/分)
逆洗初期設定 : 1日1回5分(AM3:00)

事例番号	17		浄化槽メーカー	(株)ハウステック		
処理方式	性能評価型 BOD除去型		浄化槽型式	KGR2		
法定検査日	平成 24 年 8 月 20 日		人槽	5 人槽	使用人員	3 人
測定項目	1次処理 1室	1次処理 2室	2次処理	処理水槽/沈殿槽	放流水	
スカム厚(cm)	0	2		1	透視度	20 度
堆積汚泥厚(cm)	10	24		26	DO	0.1 mg/ℓ
透視度(度)	9	11	14		pH	7.2

法定検査からの 状況連絡・指示内容	槽内状況	スカム厚、堆積汚泥厚が1室より2室が多く押し出されている。 循環水量:2.3ℓ/分(バルブ開度3) 逆洗設定:1日1回5分 処理水槽堆積汚泥厚26cm 日平均汚水量 1.07m ³ /日 採水時間11:30				
	対策	処理水槽に堆積汚泥が多い為、汚泥を移送して下さい。 循環水を停止して下さい。 循環バルブを裏返し付け替える事で循環水は停止できます。				
保守点検からの措置 返信内容	8月23日	指示通り、汚泥を移送する。 循環バルブを裏返しに取り替え、循環水を停止する。			透視度	19 度
					DO	0.2 mg/ℓ
					pH	7.1
	9月6日	循環水停止調整中。			透視度	22 度
				DO	0.3 mg/ℓ	
				pH	7.1	
	9月20日	透視度改善しました。 次回10月保守点検まで循環水停止して様子を見る。			透視度	36 度
					DO	0.7 mg/ℓ
					pH	7.0

【ポイント】



① 処理水槽にスカム厚2cm
堆積汚泥厚26cm
共に汚泥が多い。

② 逆洗直後の移送汚泥の状況
30分経過後87%
量が多く、色は茶色で濃い。

③ 通常はストッパーがあり停止できない。
循環バルブを裏返しに付け替える事で、
循環水は停止できる。